

アルインコ株式会社
2025年3月期第3四半期
決算補足説明資料

2025年 2月 3日

証券コード：5933

<https://www.alinco.co.jp/>



2025年3月期第3四半期 連結業績



- ✓ コア事業である建設機材関連事業とレンタル関連事業の連携強化による業績牽引によって、通期業績予想に対する進捗は、売上高77.4%、経常利益80.0%、親会社株主に帰属する四半期純利益84.6%となり、業績は順調に推移した。
- ✓ コア事業は顧客の“購買よりもレンタル”のニーズを着実に捉えて、新型足場「アルバトロス」や付加価値の高い製品の市場シェア拡大を進めた。
- ✓ 円安によるコスト上昇圧力や金融・為替動向の影響を受けた為替差益の減少により利益額は前年同期比減少しているものの進捗状況は概ね予想通り。

(単位：百万円)

	2023.3月期 3Q	2024.3月期 3Q	2025.3月期 3Q		2025.3月期 通期	
	実績 (売上比)	実績 (売上比)	実績 (売上比)	前年同期比 増減額 (増減率)	予想 (売上比)	3Q進捗率
売上高	46,691 (100.0%)	44,692 (100.0%)	47,197 (100.0%)	+2,505 (+5.6%)	61,000 (100.0%)	77.4%
営業利益	1,897 (4.1%)	1,916 (4.3%)	2,043 (4.3%)	127 (6.7%)	3,200 (5.2%)	63.8%
経常利益	3,171 (6.8%)	2,793 (6.2%)	2,641 (5.6%)	△152 (△5.5%)	3,300 (5.4%)	80.0%
親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益	1,322 (2.8%)	1,916 (4.3%)	1,775 (3.8%)	△141 (△7.4%)	2,100 (3.4%)	84.6%

Copyright © ALINCO, INC. All rights reserved.

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

2025年3月期第3四半期 セグメント情報



- ✓ 建設機材セグメントは、仮設機材の購入ニーズを着実に受注につなげたことで販売が増加。また、物流関連製品では物流倉庫向けラックの販売が引き続き好調で半導体製造工場向けにも販路を拡大した。レンタルセグメントでも「アルバトロス」他主要な製品群の稼働率は高く、売上高が堅調に推移したことで、コア事業の売上高、セグメント利益はともに通期予想比高い進捗を維持した。
- ✓ 住宅機器セグメントはアルミ製昇降器具の販売が堅調に推移した一方、フィットネス関連製品の売上高が伸びず、円安の進行による影響を受けた。
- ✓ 電子機器セグメントは特定小電力無線機や業務用無線機の販売が堅調に推移した一方、プリント配線板製造子会社の東電子工業(株)では受注拡大に向けて増強した製造設備の稼働がスタートし、減価償却費が増加した。

(単位：百万円)

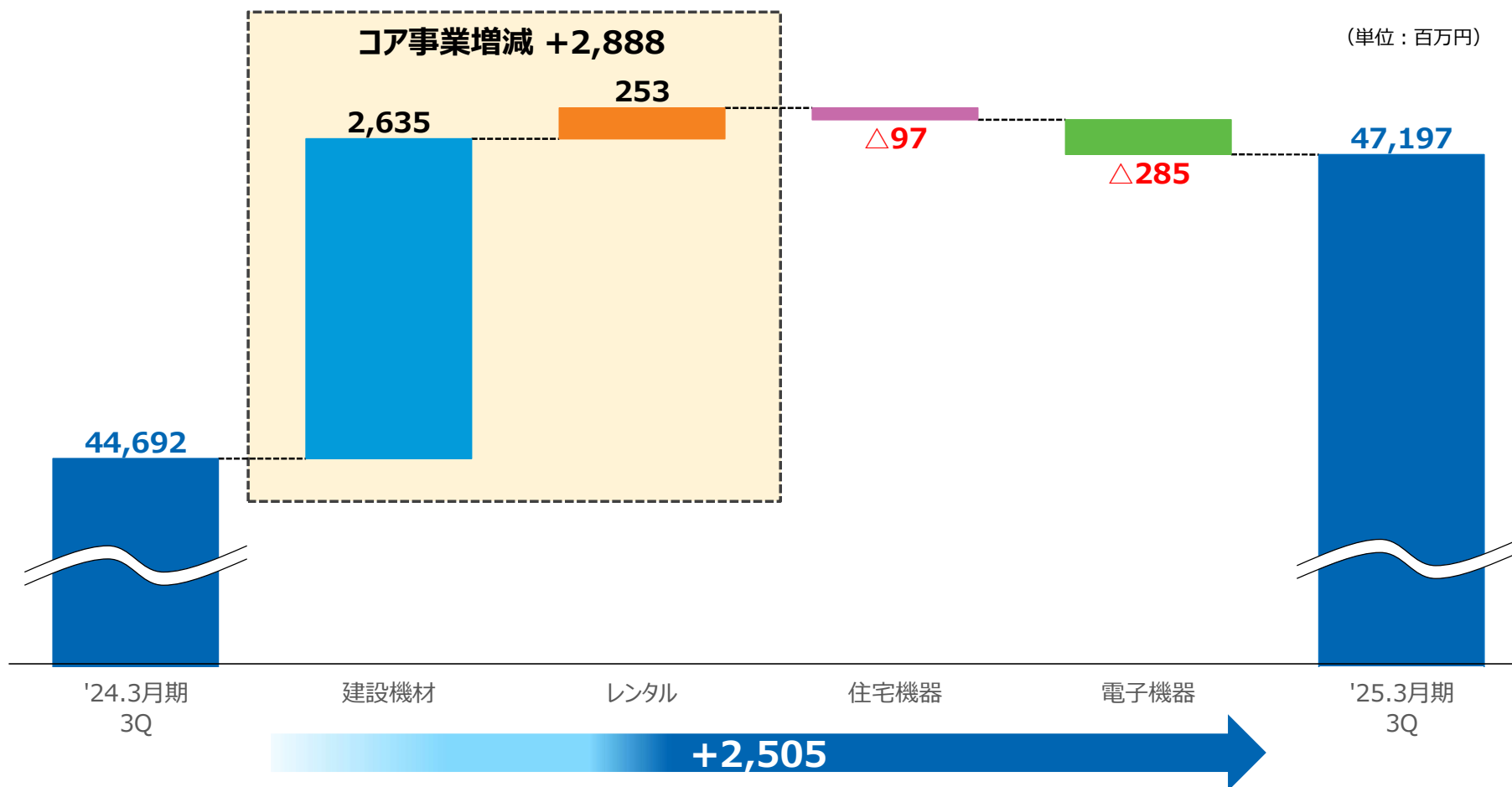
上段：売上高 下段：セグメント利益	2023.3月期 3Q	2024.3月期 3Q	2025.3月期 3Q		2025.3月期 通期	
	実績	実績	実績	前年同期比 増減率	予想	3Q進捗率
建設機材関連	19,020 2,298	16,442 1,985	19,077 1,869	+16.0% △5.9%	23,080 2,220	82.7% 84.2%
レンタル関連	12,749 362	13,543 589	13,797 1,240	+1.9% +110.3%	17,830 1,250	77.4% 99.2%
住宅機器関連	10,763 △87	10,761 △193	10,663 △339	△0.9% —	14,240 △170	74.9% —
電子機器関連	4,158 235	3,944 △20	3,659 △443	△7.2% —	5,850 △100	62.5% —
調整	— 362	— 433	— 315	— —	— 100	— —
全社合計	46,691 3,171	44,692 2,793	47,197 2,641	+5.6% △5.5%	61,000 3,300	77.4% 80.0%

Copyright © ALINCO, INC. All rights reserved.

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

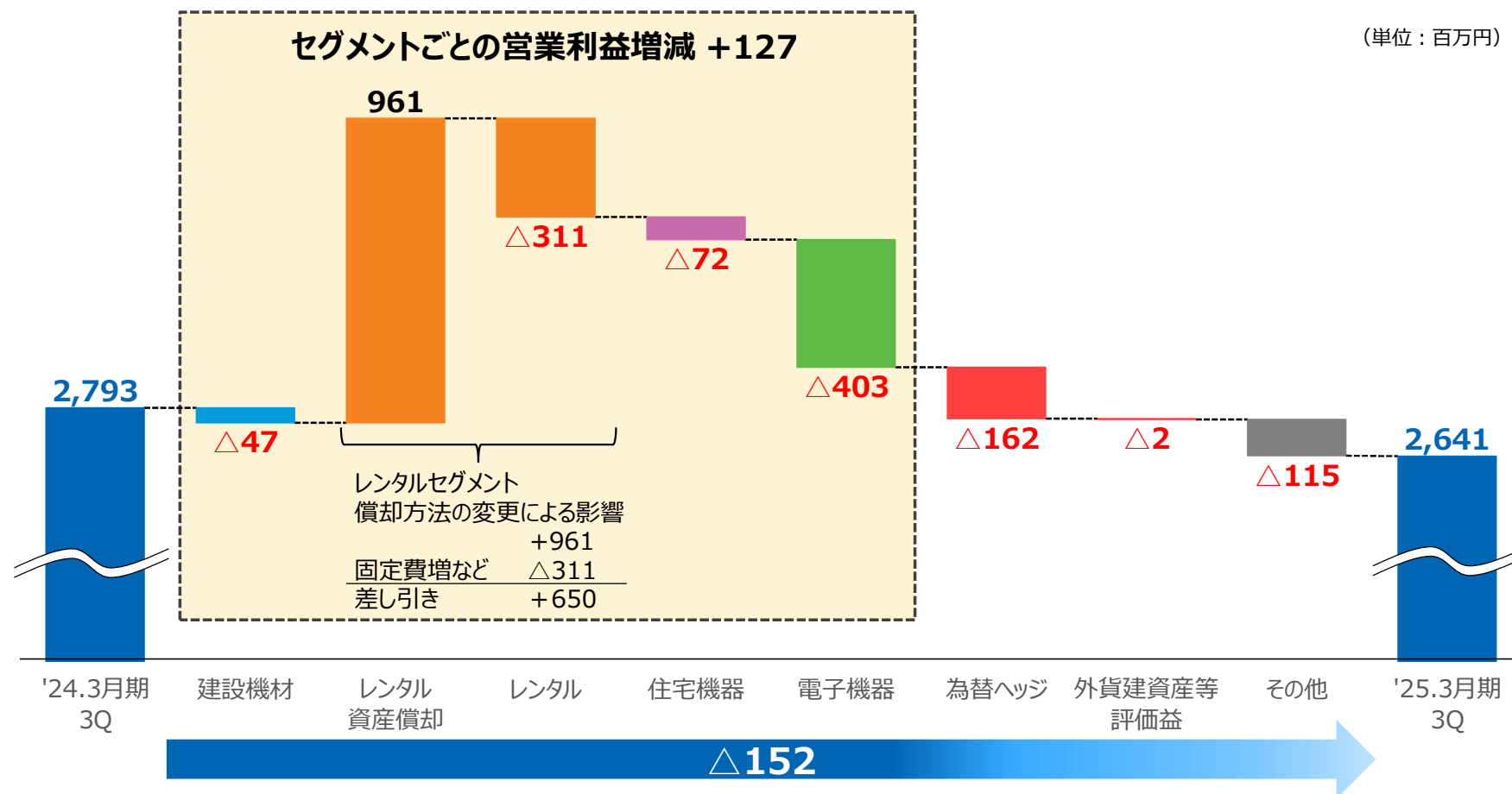
2025年3月期第3四半期 売上高セグメント別増減要因

- ✓ コア事業の売上高増28.8億円（前年同期比）に牽引され、連結売上高は前年同期比25億円増加した。
- ✓ コア事業は、仮設機材販売が前年同期比13.9億円増、物流関連製品の販売が同12.4億円増、レンタルが同2.5億円増となった。



2025年3月期第3四半期 経常利益増減要因

- ✓ 今年度からレンタル資産の償却方法を5年定率法から8年定額法へ変更したことにより減価償却費が9.6億円減少し、営業利益を下支えした。
- ✓ 為替予約によるヘッジ効果が1.6億円減少したことによって、経常利益は前年同期比1.5億円減少した。



2025年3月期第3四半期 連結財政状態



(単位：百万円)

	2024.3月期	2025.3月期3Q	
	実績 (構成比)	実績 (構成比)	前期末比 増減額 (増減率)
流動資産	43,894 (64.3%)	45,711 (63.0%)	+1,816 (+4.1%)
固定資産	24,420 (35.7%)	26,840 (37.0%)	+2,419 (+9.9%)
資産合計	68,315 (100.0%)	72,551 (100.0%)	+4,236 (+6.2%)
流動負債	19,860 (29.1%)	21,869 (30.1%)	+2,009 (+10.1%)
固定負債	17,910 (26.2%)	19,150 (26.4%)	+1,239 (+6.9%)
負債合計	37,771 (55.3%)	41,019 (56.5%)	+3,248 (+8.6%)
純資産	30,544 (44.7%)	31,532 (43.5%)	+987 (+3.2%)
負債・純資産合計	68,315 (100.0%)	72,551 (100.0%)	+4,236 (+6.2%)
自己資本比率	44.7%	43.5%	△1.2ポイント
D/Eレシオ	0.83倍	0.87倍	—

主な増減要因(百万円)	
流動資産	
受取手形及び売掛金	+2,637
たな卸資産	△618
固定資産	
レンタル資産への投資などによる 有形固定資産増	+2,350
負債	
長、短借入金の増加	+2,148
純資産	
四半期純利益	+1,775
為替換算調整勘定	+6
剰余金の配当	△836

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競業状況等、多くの不確実な要因による影響を受けます。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。

本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

【お問い合わせ先】

アルインコ株式会社 経理本部 IR室

大阪府中央区高麗橋4-4-9 淀屋橋ダイビル

Tel : 06-7636-2220 ・ Fax : 06-6208-3701

E-mail : alinco-ir@alinco.co.jp